

OGAKI ひるば

OGAKI JUNIOR BOARD



第45年度第1号
大垣青年重役会
平成22年8月25日発行
<http://www.ojb.jp>

第44年度スローガン 『温故知新』 先人から学べ！ 自己の経営進化論を探究しよう

～第44年度 8月最終ゆかた例会～

『岐阜グランドホテル』 にて、ゆかた例会開催

8月9日、ゆかた例会が開催されました。
例会では第44年度をもって卒業される
三輪俊明会員による講演が行われ、
OJB活動の思い出を入会当時から順番に、
熱く楽しく語られました。

- ◎演 題 …… 『OJBをふりかえって』
- ◎講 師 …… 第28年度入会 三輪俊明会員
- ◎と き …… 平成22年8月9日（月）
- ◎と ころ …… 岐阜グランドホテル
- ◎出席者 …… 40名



OJBの思い出について語られる三輪会員

三輪俊明先輩の講演を聞いて



三輪俊明会員との思い出
栗田 和幸

三輪さん卒業おめでとう御座います。三輪さんが居なくなると、夜のOJBが寂しくなりますね？ご講演では入会当初から現在までのOJBの移り変わりを分かり易く説明していただきました。またOJBの歴史を知る貴重な方が卒業される事を寂しく思います。43年度三輪会長の下、監査役を勤めさせて頂きました。10年以上OJBで御一緒させていただいて初めて一緒に役員をさせて頂きましたが、非常に勉強させていただいた1年間でした。ありがとうございます。

しかし、やはり三輪さんとの思い出は、38年度の研修旅行での大阪の夜・昼？ではないでしょうか。夜・昼問わずそのパワーには圧倒されてしまいました。卒業されても夜の街で御会いできる事を楽しみにしています。



ありがとうございます
吉田大助

三輪会員の講演を拝聴し、OJBの歴史と時代の変化に思いを馳せていました。

三輪さんと私。

創立40周年記念事業の際、初役員の私。いつかの二次会の店で、当時の大角会長との素晴らしいかけ合いで、お酒の席を盛り上げる三輪さん。崩れているようで、どこか知的。

私が髭を生やした時分、その年の忘年会で髭を蓄えてみえた三輪さん。普段はベイビーフェイスなのに、ものすごくダンディ。

43年度では、三輪会長のもと初執行部の私。要所でのご意見は鋭く。時には繊細に携帯メールにてお気遣い下さった三輪さん。

でも一番影響を受けたのは「ありがとう」です。その意味はまた今度教えて下さいね。ありがとうございました。

特別会員認証状授与

今年度から特別会員になられる三輪俊明会員です。今後も、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。



第44年度羽田会長から第45年度平野新会長へバトンタッチ



認証状を手にする三輪会員



第45年度への引継式



羽田会長のダイエット宣言の結果発表！
見事70.4キロを計測して-10キロ
達成しました！ お見事！！

ゆかた例会懇親会

温泉につかって、ゆかたを着て、各会員も心も体もリラックス！



増田歴代の乾杯のご発声で
懇親会がスタート！



奏音にて二次会。終始和やかに過ぎました。
平野新会長と松本新副会長の熱唱タイム！



特別寄稿 三輪俊明会員との思い出 浅野 信哉

38年度はじめて役員を受けた年度の監査役が三輪会員。役員会締め「慎重審議・・・」厳しそうな人。
39年度研修旅行、レストランシートにて三輪会員と川合麻美会員と同席。
出てきたスープに対して三輪会員が「これさめてるよ。」代わりのあつあつのスープをもらって一言
「おかわり自由らしいよ。」・・・おかしな人。
40年度広報幹事のときに担当委員会からひろば原稿依頼。
締め切り前に委員会から「三輪会員から原稿届きましたけど・・・」読んでみるとうまい文章。
とても三輪会員らしい文章。ひろばには載せられませんでしたけど。・・・あたまいい人。
43年度は幹事長として当時三輪会長と活動。・・・お酒によわい人。
入会して8年間三輪会員と会をともにさせていただきました。いろいろな三輪俊明という人を見ました。
三輪会員から感じる自分が自分を成長させているに違いないと思います。その証拠に私はお酒を飲まないでしょ。
一番私を成長させたのはもしかしたら皆さんが知らない三輪俊明という人かもしれません。
三輪さん重役会ご卒業おめでとうございませう。特別会員になられても変わらぬご指導よろしく願います。

第44年度を振り返って

●共に学びあう

会長 羽田 義慎人

まずもって一番最初にお礼を言わせて下さい。「ありがとう ございました」今になってはじめて感じる事ですが会長を経験させてくれたさざまなめぐり合わせ、運と申しますか必然性なのかわかりませんが感謝の気持ちでいっぱいです。役員総数17名でスタートした44年度、皆さんのお世話になりっぱなしの1年間でありました。役員という立場からお互いにながかに会って良いのか話合ったり何を言わんとしているか気を使い合ったりして共に学び合えた環境がありがたかったです。OJBに入会して何をつかむかは本人の捉え方次第で人は教えてくれません。まして与えてもくれないでしょう。「自分の手で掴む」それが分かった者が学び合える事の喜び・充実感・大切さを堪能した1年でした。これからの人生、OJBの会長を務めた事を誇りと思い自分自身の勲章として胸中に掲げまた初心にもどり学びたいと思います。最後になりましたが支えて頂きました執行部・役員の方々に、そして見守ってくださった会員の皆様「ありがとう ございました」

●OJBを卒業する年を直前会長として過ごし「第44年度を振り返って」に名をかりたお別れの言葉をひろばに掲載してもらえという幸運と9月から突然ひまになってしまうという不運に見舞われた会員の締め切りぎりぎりの原稿

みなさん、こんにちは。第44年度直前会長の三輪俊明です。第28年度に入会して以来、思えば恥多きOJBでの17年間でした。先輩、同期、後輩の皆様のおかげでここまで続けることができました。深く感謝します。ありがとうございました。OJBを卒業する者が残る会員の妨げにはならぬと考えています。これからは、現役の活動に口出しすることなく静かに応援していきたいと思っています。とはいえ、平日夜はほとんど空けておきます。いつでもお誘いください。

●伝統と革新の年

創立45周年記念事業準備委員長
副会長 平野 宏司

第44年度の役員にとって、今年度はまさに会長がスローガンに掲げられた「温故知新」の年でした。先輩から受け継がれた伝統を今に伝え、独自のアレンジをしながら時代にあった諸活動の具現化に取り組まれた会長と、フレッシュなアイデアとエネルギー溢れるアプローチで企画にスパイスを効かせた新世代の正副委員長、その間をとりもちスムーズな運営に尽力された直前会長、監査役、幹事長、例会幹事、広報幹事、会計の方々と、いずれも個性派ながらもOJBに対する思いはひとつに、見事なコンビネーションの中、役員任務を遂行されました。私も副会長及び創立45周年記念事業準備委員長として一緒にさせていただき、大いに研修になり、かつ素晴らしい仲間と楽しい時間を過ごすことができました。皆様に感謝しつつ、次に与えられた自らの任務への糧とさせていただきます。ありがとうございました。

●第44年度を振り返って

幹事長 長屋 是通

今回幹事長を受けさせていただいて一年間色々な事を勉強させていただきました。正直幹事長のお話きたときはどう断ろうとしか考えてみませんでしたが、しかし色々な人に刺激され、このままではいけない、何かに満足してはなくて何かを変えたいならばまず自分が変わらなくては、とにかく前へ進むことを決意しました。今思うとものすごく早くからしっかり考えて取り組んでいればもっとクオリティの高いモノになっていたであろうこと後悔することも多いです。今年度44年度メンバーである羽田会長はじめ執行部、役員の方々の「人間力」の高い方々に恵まれ大変助けられました。この感謝の気持ちを忘れず、今後の重役会の伝統や文化を引き継ぐ一人として協力していきたいと考えます。一年間ありがとうございました。

●「ありがとうございました」

例会幹事 川瀬 由香

不動の委員長！でいるつもりだった私が、例会幹事にさせていただいてしまい、一年前の今頃は、とにかく悩んでいました。不安でいっその事、退会？とまで頭を過ぎった時もありました。今だからこそ言えますが・・・(笑)。羽田会長に「最後のご奉公だから頼む！」とおっしゃっていただいて、決心はしましたが、今思うと「ご奉公」どころか「ご迷惑」のかけどうしの一年でした。担当幹事であるのに、家族親睦会にも出席できなくて、会員委員長、副委員長、本当に力不足の担当幹事でごめんなさい。そんな中で、歴史に残る！家族親睦会を成功させてくださって、本当にありがとうございました。独りで頑張るところか、例会幹事としても他の役員の方々にたくさん手を差し伸べていただいて、何とか乗り越えられました。やはり、私は独りでは何もできない・・・と痛感です。皆様の暖かさをまた痛感。本当にありがとうございました。

第44年度役員の皆様より

お言葉をいただきました。

●「44年度をふりかえって」

広報幹事 小倉 秀樹

44年度の広報幹事をさせていただきましたが、至らぬ広報幹事であったために、会長・幹事長をはじめ、執行部・役員の皆様には大変ご迷惑をおかけすることとなりました。特に、担当の委員長・副委員長にほとんどお任せでしたが、素晴らしい仕事ぶりに感動さえ覚えるしだいでした。是非、もう一度44年度のひろばを見直して、講師の先生方の躍動感あるベストショット、各活動のスナップの数々そして編集を確認してみてください。きっと広報委員長・副委員長の今年度に向けた想いが伝わるはずです。こうした、委員長・副委員長の担当をさせていただき、大変勉強になりました。また、他の役員の方々の仕事ぶりも大変勉強させていただきました。この44年度の一年間執行部での貴重な経験を、自社で生かすべきことだと実感しました。一年間ありがとうございました。

●44年度を振り返って

会計 北野 英樹

8月12日深夜、決算書完成。1年で最も忙しいお盆を迎える直前になんとか会計の業務を終えた瞬間の安堵感と達成感、普段終わりの無い仕事をしているだけに本当に久しぶりに味わった何とも言えない感覚でした。ビールでも飲めたらうまいんだろうな、と思いつきながらアルコールの苦手な私はコーヒーを飲み、しばらくその余韻に浸りました。

1年前、会計を引き継いだ頃は膨大な会計資料に驚き、自分に出来るのかと不安になったりしたものの、この仕事だけは生来の大雑把な性格を封印しようという心がけ、みなさまの協力もあって何とか終わらせることが出来ました。おかげさまで、この1年で少しは成長できたのではないかと思います。本当にありがとうございました。

●「44年度を振り返って」

監査役 佐竹 紀皇

監査役という役職を羽田会長から任命を受け、あっという間に1年が過ぎてしまったように思います。監査役として会全体を見てきたつもりですが、はたして仕事が出来たのかは、わかりません。執行部会・役員会等では、私の発言が少し多かったように思います。もっと役員の方々の色々な意見が聴けたらよかったです。でも、こうして1年を振り返ると各役員・執行部の皆さんがそれぞれの役をしっかりとやり遂げてくれた結果、無事に44年度を終えることができたのだと思います。羽田会長、執行部、役員の方々に、1年間本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

●44年度をふりかえって

研修委員長 川瀬 知哉

第44年度では、研修委員長として一年間役員をさせていただきました。その中で多くの事で学び得ることができ本当にありがとうございました。昨年度は副委員長として、今年度は委員長として活動させていただきましたが、その立場が変わる事によって確認する視点、より視野を広げて見る必要性など、様々な事を学ぶことができました。これは会社組織でも同じことが言え、自社の企業活動においても役立つ大変貴重な経験ができたと思っています。45年度においても、また違った視点から勉強できる喜びを感じながら、学ばせていただきたいと思います。44年度役員の方々に、会員の皆様には大変お世話になり、1年間本当にありがとうございました。

●研修委員会副委員長として1年を終えて

研修副委員長 近沢 正

9月記念講演に、株式会社丸順の今川先生を迎えてスタートした44年度も8月に岐阜グランドホテルにて、ゆかた例会を終えて、1年の行事が無事終わることができました。研修委員会副委員長として過ごした、この1年を振り返ると・・・

担当例会として、岐阜経済大学の鈴木先生に街作りに関する講義をいただき大垣の商店街について、強い関心を持つきっかけになりました。大垣市民病院の傍島先生には、メタリックシンドロームについて、対策などを学ばせていただきました。

会社訪問では、ナベヤ様を訪問。400年以上続く企業を訪問し、企業経営について、大いに刺激を受けることができました。このような研修を通して、今まで目を向けていなかった分野のことを学べた事、そして、その研修を企画運営する事ができるのは、役員ならではの役得とも言えるものではないでしょうか。役得といいますが、44年度の役員の方々の皆様から受けた刺激、これがこの1年での何よりの財産ではないかと思います。会の活動をやるにあたって、会に対する思い、会員として研修に参加するだけでは、知ることの出来ない部分を勉強できた事。1年の活動を通して自分自身の成長につながった色々な事は、役員の方々の皆様のおかげであつたと、1年を終えるにあたり強く実感しています。

44年度役員の方々と共に活動できたという事は、私自身忘れることの出来ないとても貴重な経験になりました。どうも有り難うございました。

第44年度を振り返って

第44年度役員の皆様より お言葉をいただきました。

●一年を振り返って

親睦委員長 安田 佑次

44年度羽田会長の下、親睦委員長をさせていただきました。前年度、親睦副委員長をさせていただき二年連続ということでしたが、あらためて一年間役員を務めることの大変さを感じさせられると共に、今年度も本当に多くのことを教えていただき、たくさん勉強させていただくことができた一年となりました。今年度の経験は今後、色々なところで生きていくんだとおもっております。そして何より、会長はじめ、執行部・役員の皆様、さらには会員の皆様にごく助けられているんだと感じる一年間でした。一年間、助けていただき、支えていただいて、本当にありがとうございました。

●第44年度を振り返って

親睦副委員長 小川 真人

昨年7月、役員顔合わせから早かった1年間でした。役員ありきの会ということを身をもって体験させていただきました。初めての役員とあって全くといっていいほど段取りもわからず、ただ参加してただけでしたが、自分が責任を持って企画し検討しながら運営することが勉強できました。とはいっても殆ど委員長任せだったので実際には動いていないのが実情でした。

ゴルフ親睦小川杯、土屋杯もゲストで楽しんでた時は違い、表彰式最後まで緊張していました。担当例会これも何もしていないのですが例会終了まで気が抜けませんでした。安田委員長様、1年間ありがとうございます。ただ参加していただけでしたが、いい勉強になり、いい経験でした。そして有意義な1年だったとおもいます。45年度はまたゲストですが、だいぶ見方も変わると思いますが、役員、執行部の皆様おつかれさまでした。

●第44年度を終えて

広報委員長 永田 康仁

広報委員長としての私にとって、第44年度を振り返ってみると、まず何より『皆様に感謝!!』の一言に尽きると思っています。OJBひろばを通して、感想文を書いていただいた会員の方、記事にご協力いただいた会員とその企業の方など、多くの方に助けていただかなくては、毎月OJBひろばを発行することは出来なかったと思います。

また、OJBひろばを楽しみ読んでいただいた皆様、ご意見やご感想をくださった皆様、その掛けていただいた言葉の一言一句が1年間OJBひろばを編集・発行する励みになり、私自身を成長させてもらえたと思っています。本当にありがとうございました。

●役員を振り返って

広報副委員長 河合 孝浩

第43年度に引き続き今年度も広報委員会副委員長を務めさせていただきました。2年目ということもあり、とまどいこそなかったものの苦労の連続で、今年度もいろいろと勉強させていただきました。仕事を進める中で「報告・連絡・相談」の大切さを改めて知り、昨年度の記憶をたどりながら進めていく委員会活動においては、小倉広報幹事や永田委員長の期待に応えようとひたむきに取り組みました。そして今回の役員を務めさせていただく中で、私が一番感じたことは『仲間の大切さ』です。私の会社のように個人経営の小さな組織では、なかなか仲間と相談したりすることはできません。でもOJBの中にはいろいろなアドバイスしてくれる先輩(仲間)がいました。時には守ってくれる先輩(仲間)がいました。その先輩方のおかげで1年間を終えることができました。

羽田会長をはじめ執行部・役員の皆様、OJB会員の皆様ありがとうございました。

●44年度を振り返って

広報副委員長 中村 和隆

羽田会長、執行部・役員の皆様さん、お疲れ様でした。初めて役員をさせていただきましたが、皆さんのお役に立てれるどころか足を引っ張ってしまい、多大なご迷惑を掛けてしまった事を深く反省しております。今後はこのような事がないよう、肝に命じておこうと思います。

皆さんはそれぞれの与えられた役割を責任感を持ちつつ無くこなされておられ、学ぶべき点が多かったです。皆さんに少しでも近づけるよう、頑張っていくとしたいと思います。1年間ありがとうございました。

●役員を終えて

会員委員長 大橋 博己

初めに会員委員会委員長として無事、一年を終える事が出来、役員・会員の皆様方のおかげだと思感謝しております。役員をさせて頂き、仲間の大切さを改めて再認識しました。

役員をして初めてわかる事、やってみて学ぶこと、委員長という立場に立ってわかる事、会社に置き換えると非常に役に立つ事を学び、少しは成長した様な感じでした。後悔する事も有り、新入会員の方々には、うまく連絡を伝えることができず、ご迷惑をおかけしたかと思えます。この一年は、ニューメンバースクール・担当例会・新入会員情報交換会・家族親睦会と様々な事をさせて頂きました。家族親睦会において、大勢の方に参加して頂きありがとうございます、やはりお子様の笑顔が一番の思い出です。色々な行事を成功出来たのも仲間のおかげだと思います。来季の役員の方々にも仲間がいてこそ成功出来る事を学んで欲しいと思います。松田副委員長初め色々な方々にお世話になり、ありがとうございました。大きな宝物が出来ました。

●2回目の役員になって

会員副委員長 松田 俊治

今回、会員副委員長として、2回目の役員をやらせて頂きました。前回とは、メンバーや委員会も違い、また雰囲気も変わり、初めての様な緊張感の中、またもや、皆様にご迷惑をかけながら研修させていただきました。大橋博己委員長に至っては、一年通ってご迷惑ばかりかけてしまいました。暖かくご指導頂きました。ありがとうございました。又、委員会活動や、担当例会にご参加いただきました皆様、拙い司会・進行でしたが、温かく見守って頂き、本当にありがとうございました。

●第44年度をふりかえって

長期計画委員長 大橋 誠治

まずもって羽田会長、第44年度一年間お世話になりました。お疲れ様でした。また、長屋幹事長はじめ執行部の皆様、役員の皆様、お疲れ様でした。私自身、今回の委員会を担当して、ほぼ代表的な委員会はすべて経験させていただきました。執行部も第38年度で経験させていただきましたが、さらに勉強させていただける機会をいただき、感謝しております。別の角度・切り口で学ぶことができました。有難うございます。第44年度長期計画委員会では、初めて、運営面の将来的な方向の一つである法人化について、協議・審議・意見交換等を実施させていただきました。各歴代会長・長期計画委員・本年度の執行部・委員長を中心に展開いたしました。今後の当会の進むべきあるいはとるべき方向についての選択肢が増えたのは事実かと存じます。これからも慎重審議が必要な部分かと思えます。皆様においても、当会の将来的な姿について全く興味の無い会員はいないと考えます。これからは時代とともに変化することは当然あると思えますし、逆に不変の部分についても再認識が必要なることあるでしょう。少なくとも会員の会であることは恒久であると思えます。本年度入会の会員、来年度入会予定の会員、既存会員、いつでも、どの切り口でも会員の為にある会であってはならないと思えます。今後、会員として、そんな点に協力させていただきながらさらなる勉強・学びができればと思います。本当に1年間有難うございました。

●「名こそ惜しけれ」

創立45周年記念事業準備委員会 副委員長 大角 勇雄

周年を考えるとすることは、例えば、ポール・ゴーギャンのその絵の前で、過去と現在と未来を感じる事のようで、ルーブル美術館の礎石がローマ時代の神殿の石で成り、パリの市街を8メートルも掘れば、そこにローマ帝国が現れることを知ることのようであります。

この一年、羽田会長、平野準備委員長のもとで、委員会のメンバーは、OJBの名にふさわしい記念事業になるよう、一生懸命に考えてまいりました。第45年度の実行委員会へと引き継がれるその事業計画は、会員の皆様と一緒に実現していくものです。そのなかで、少し大げさですが、私たちは、日本人としてのありようを表現するぐらいの気持ちでいかなくてはいけないと思うのです。企業文化と経営姿勢、食やエネルギーなどへの環境意識、日本的道徳心。それらをOJBの名こそ惜しけれの精神で高めていく。それで、私たちは、やっと二本の足で立って、世界の公道を歩くことができるのです。

Special Interview

第45年度スローガン

とことん まっすぐ

さる8月4日に開催された第2回役員会終了後、広報委員会では平野会長にインタビューさせていただきました。今の心境や、スローガンに込めた想いなどについてお話を伺いました。
(聞き手：広報副委員長 田端 場所：平野学園にて)

Q1. いよいよ45年度がスタートします。今の心境をお聞かせください。

A1. 本当に「いよいよ」ですね。身の引き締まる思いです。OJBは伝統があり、かつ未来がある会。その節目として各種周年記念事業も催される45年度は、過去の歩みと将来進む道を皆で考える年です。会員企業もOJBも共に発展していく為、様々な研修活動に積極的に取り組みたいと思うものの、大役が務まるか正直不安。しかし素晴らしい役員や会員の皆様と歩んでいける幸せも同時に感じています。

Q2. 第45年度のスローガン「とことん まっすぐ」についてお伺いします。文字通り、短くシンプルなスローガンですが、どの様な思いをこめられているのでしょうか。

A2. 「変化」「改革」「チェンジ」と、何でも変わっていかなきやという最近の社会的な風潮に疑問を感じたのがきっかけです。もちろん企業発展や社会向上のために変化は必要不可欠。しかし変化に焦点を合わせるのではなく、「守るべきもの」に軸を置くことを忘れてはならないはず。守るべきものとは、OJBにとってはやはり研修の会であるという存在意義。そして会員企業にとっては、会社自身とその存在意義であり、社員であり、社員の家族であると思います。もちろんそれらを取り巻く、様々な善なる社会環境要素も守るべきもの。これらの事柄をとことんまっすぐにとらえ、考え、行動することに挑戦していこうというのが今年度の思いです。

また、過去のスローガンと比較すると確かに今回はフレーズが短いですが、今年度のエッセンスが結晶のように固まりかつ多面体として光り輝くような、小粒でもピリリとしたスローガンにしました。単純な言葉の中にあらわした明確なメッセージを感じていただければ幸いですし、ぜひ会員の皆さんと思いを同じくし、共有していきたいと思えます。スローガンは皆さんと共に歩む羅針盤です。

Q3. 今年度の委員会では研修委員会を例会企画委員会として立ち上げ、普段の例会とは少し変わった趣向の例会を考えていらっしゃるようですが。

A3. 研修の会であるOJBにとって、毎月の例会はメインステージです。例会の可能性を探求しつつ、あくまで基本に忠実に、例会のあり方を再検証していきたいです。様々なアイデアを試すことよりも、例会を100%以上活かすための方法を探していきたいと思えます。ぜひ参加して下さい。

Q4. 公私共にお忙しい毎日を過ごされていますが、会長にとっての支えとはなんのでしょうか。複数でもかまいません。

A4. やらなければという使命感と強迫観念です(笑)。でも、やはり仲間と一緒にやるのは楽しいですしやりがいがありますね。恵まれた組織の中で、会の重要な役目に携わらせていただける幸せを感じながら、精一杯努めていきたいと思えます。

Q5. 最後に会員の皆様に向けて一言。

A5. 「とことん まっすぐ」のために、慎重さと大胆さのバランスある活動をしていきたい、ただいま役員と準備を進めています。一年間有意義な年度・周年活動となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。ぜひ例会そして各種活動にご参加下さい。本日はありがとうございました。

活動
報告

Activity Report

家族親睦会

◎とき …… 8月1日(日)

9:30~

◎ところ … キートスガーデン幼稚園

◎出席者数・60名



羽田会長自らそうめんを流してくれました。



当日は銅板教室やバーベキュー、流しそうめん、スイカ割りなど盛りだくさんでした。会員のご家族様も大変盛り上がりました。



四季の会

◎とき …… 7月29日(木)

18:30~

◎ところ …… 駅前にしき

◎出席者数 … 18名

楽しいひと時を過ごされた特別会員の皆様



第9回全国高校生ポスターコンクール

◎とき ……

8月19日(木) 14:00~

◎ところ ……

大垣市スイトピアセンター

羽田会長のテープカット



おし
らせ

Information

委員会活動

- 第1回飲んで語る会 (会員親睦委員会)
とき …… 9月9日(木) 例会終了後
ところ … ラウンジ紫苑
大垣市本町1-7-1
Tel: 0584-74-3001
会費 …… 4,000円
- 合同委員会
とき …… 9月16日(木) 19:00~
ところ … 玉子屋別館 玉辰楼
大垣市新田町2-9-5
Tel: 0584-89-3223
会費 …… 5,000円
※バスをご利用の方は東外側町駐車場に18:20集合願います。
※服装は自由で結構です。

◎第45年度会費納入のお願い◎

会費納入額 (上期) … 35,000円
会費納入額 (通期) … 70,000円
納入期限 …… 平成22年9月30日(木)
※今回より通期分の一括納入も承ります。

8月ドネーション

- 増田典晃 会員
ゆかた例会の成功に。
- 藤井重雄 会員
芭蕉元禄水まつりに所属する「常葉会」でバザーを出店しました。おかげさまで大盛況でした。
- 平野宏司 会員
家族親睦会の会場に使ってくださりましてありがとうございました。
第45年度&創立45周年よろしくお祈りします。
- 北野英樹 会員
水まんじゅう、オオガキ珈琲水まんじゅうが各種メディアに取り上げていただきました。
- 吉田大助 会員
三輪歴代会長、ありがとうございました。
- 鳥居清 会員
いろいろとお世話になりました。
- 広報チーム
なんとか「OJBひろば」第12号まで発行できました。
1年間ありがとうございました。
- 第44年度役員一同
1年間ありがとうございました。
- 第44年度執行部一同
1年間ありがとうございました。
- 羽田義慎人 会員
無事、ゆかた例会を迎えることができました。
第44年度、1年間ありがとうございました。